

当園ではこの度、令和3年度の幼稚園学校評価として、保護者アンケート及び、教職員自己評価・学校関係者評価を実施いたしました。教職員自己評価では、教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を客観的に振り返ることにより、自身や園全体を見つめ直す非常にいい機会となりました。

今年度の保護者アンケートの結果及び、教職員自己評価の結果を活かし、来年度以降の更なる教育活動の充実、教職員の資質向上に努めていきたいと考えております。

I. 教育目標

<p><b>目指す園况像</b></p> <p>心身ともに明るく健康な子ども 何事にも興味を持ち、創造性豊かな子ども 誰とでも遊べる思いやりのある子ども 正しい考えで行動できる子ども</p> <p><b>具体的な教育目標</b></p> <p>①基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培います。 ②人を尊重し、助け合い、すすんで他の人の幸せのために奉仕する生き方を学びます。 ③自然などと親しみ、驚きや発見などの感動を大切にし、豊かな心情や思考力の芽生えを培います。 ④言葉を交わす楽しさを知り、喜んで話したり聞いたりする態度を養います。 ⑤さまざまな体験を通して、豊かな感性を育て、創造性に富んだ生活を営む基礎を培います。</p>
---

II. 今年度の重点目標

<p>昨年度の学校評価で、抽出された「課題」の解決をするともに、関目聖マリア幼稚園をより良い幼稚園にしていく為に、現状考えられる課題を年初に抽出し、それらの課題の達成に向けて年間で計画を立てて取り組んでいく。</p>
--

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1  (教育内容) 理念の浸透	幼稚園のビジョンを可視化し、共通の目的に向けて、全教職員が誇りを持って教職員全員が進む	B 年度末の研修で共通の目的を確認し、ビジョンは可視化することで先生たちが理解できるように発信し、全員の共通理解として浸透するように試みた。結果としてカトリック園で働く意味について例年以上に考える機会ができたという職員や、人を思いやることや優しい気持ちを大切にすることを伝えようとする意識も高まったように思う。 継続して全体へビジョンの浸透に取り組む。
2	月に一度の神父様のお話を全員で分かち合い、教職員一人ひとりが子どもたちに、「神様のおはなし」ができるようになる	C 日々のお祈りや聖歌を通して神様に触れる機会を持ったり、聖歌の歌詞の意味を子どもたちにわかりやすく伝えて、優しい心を育むように取り組んだ。時間の都合上、代表の先生が聞いたものをまとめてもらい、それを共有したり、リズムを見るなどで共有できるように工夫した。 インプットする機会とアウトプットする機会の両方を充実させることができるように引き続き取り組む。
3  (教職員の質の向上) 保育・教育の質の向上	「新しい生活様式」の中の子どもの育ちをよく観察・検証し、日々の教育・保育の見直しを行う	A コロナ禍によって園内保育環境の変化だけでなく、出かける機会が減っている子どもの歩行の安定が不十分となっていること等、様々な影響が出ていることを実感した。制限のある中でできることや、代替案を考え、子どもたち個々に合った保育を実施した。登園を自粛している子どもの変化に気付くことができた。

# 令和3年度 学校評価結果報告書

学校法人 大阪聖マリア学園  
 関目聖マリア幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	(教職員の質の向上) 組織体制の構築	各分掌を明確化し、皆がリーダーシップを発揮する	B それぞれの業務内容が明確になり、働きやすい環境づくりに貢献したと考えている。それぞれの役割を持つ先生方々に責任感が感じられ、決定事項を職員会議で発信するなど、積極的に取り組む姿が見られた。今後に関しては誰がリーダーになっても運営が可能になるように視覚化することや、役割ごとの難易度を加味した体制づくりが必要であると考えている。
5	(安全管理体制の強化) 保育環境の整備	「愛される」ことの心地良さを子どもたちが感じ、その愛を基盤に安心して行動を起こし、様々な活動にチャレンジできる環境を整える	A 行事の見直しを行うことで今までよりもさらに子どもの成長や、やる気に応じた活動ができるような環境づくりを行い、子どもたちが「やりたい」と思ったときにすぐできるように対応することができた。今後はさらに新しい知識や情報を取り入れ、過去の保育方法にとらわれず、「関目聖マリア幼稚園」にとって最適な環境づくりを目指す。
6	(安全管理体制の強化) 安全対策	コロナ感染防止を含む園における様々な場面の安全管理についてフローチャートを作成し、全職員が目に入る場所に置いておく。またフローチャートの内容は定期的に見直しを行う	B 園全体で話し合う機会をつくり、言葉の定義などの共通理解を図ることで対応を考えることができた。コロナ感染状況の確認やマスク着用と手洗いの徹底は当然のこと、ルールとして感染時のマニュアル作成と確認を行うことや、コロナ関連の情報を1か所にまとめるなど、全体の意識を高めることができたように思う。今後も情報の更新、その伝達などを怠らないようにして安全と安心を提供できるように取り組む。
7	(安全管理体制の強化) 危機管理	危険な場所がないか、乳児と幼児の職員でお互いに検証しあう	C 現状の危険を発見する仕組みとしてヒヤリハットの実施、チェックリストによる定期点検を実施している。そのほかにも個々の先生が園庭をチェックし、気づけば主任や副園長に報告するようにして共有するようにしている。避難経路にもものが置いてあったり、使ったものを元の場所に置くという整理整頓の徹底と、「子どもの目線になる日」などを作り、危険の排除に取り組む。
8	(情報発信) 保護者への情報提供	園舎に入っただけでない今だからこそ、園での様子や行事などを積極的に動画配信し、保護者の方に対し保育の見える化をはかる	B レーザーキッズの活用により誕生会、運動会、作品展、誕生日会等を動画配信し、園での生活を知ってもらえるようにした。またクラスごとに春夏秋冬の動画配信を行うなど、先生によってそれぞれの工夫が見られた。動画配信でネックとなるのは編集やチェックとなるため、その手間の対策を検討し、より多く情報発信できる環境を整える。
9	(情報発信) 地域への発信	掲示板に毎月の子どもの作品を掲示し、また園内での様子を写真などを使ってお知らせする。コロナ感染の様子を見ながら、地域に向けたコンサート等も少人数制で開催する	B アイデアを出し合って目を引くような外壁面を作成し、それを毎月変更してレーザーキッズで送ったり、動画の発信など、感染症の中でもできるだけのことに取り組んだ。掲示板の作品に足を止めた地域の方々と言葉を交わすことで、関係性を深めることができたように思う。コミュニケーションに制約がある中でも全員で協力して情報発信することができたように思う。
10	(食育) 食育の推進	プランター菜園などを通して野菜の育ちに興味を持ち、収穫をすることにより感謝をもって日々の食事が頂けるようにつなげていく	A プランター菜園で野菜や植物を育ててその変化を観察しながら成長を実感したり、収穫した野菜を食べたりすることを実施した。子ども達の食に対する興味が高まり、喜んで取り組むことができた。今後も食べるということに対して感謝の心を育てるように導いていく。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	理念の浸透・目標の推進	「神様のおはなし」や園長先生のお話等によるインプットと、それを実際の保育の場面で生かすアウトプットのための理念の浸透や目標への推進を目指す。
2	組織体制の構築	役割分担や権限移譲によって各職員のリーダーシップを高め、組織として保育の質の向上と業務の効率化を目指す。
3	保育環境の整備	引き続き「愛される」ことの心地良さを子どもたちが感じ、その愛を基盤に安心して行動を起こし、様々な活動にチャレンジできる環境を整える
4	情報発信	保護者への動画配信の頻度を高めて保育の見える化によって安心を提供する。地域に対しても関係性を強めることができる取り組みを実施する。
5	安全管理体制の強化	コロナウイルスへの対策や危険個所の確認、整理整頓を園のルールと個人の意識を高める部分で強化し、安心安全な園体制を整える。

V. 学校関係者の評価

自己評価・保護者アンケートを基に関係者評価を実施

<p>・今年度の学校評価報告書より全ては「目指す職員像」と子どもたちの心身の健やかな成長のための取り組み内容ということが伺えました。各項目への取り組みに加えてコロナ禍における生活様式の変化への対応もあり、大変とは思いますが、教職員一丸となって取り組まれることを願っております。</p> <p>・2、3学期の行事見直しに着手されることを評価します。年間計画の進捗がスムーズになることを期待しております。また、連絡体系の可視化や厳格化なども評価します。どちらの取り組みも一見地味に見えますが、継続することで改善につながると思います。</p> <p>・先生方が園児一人一人に余裕を持って目を向けていただけるかが取り組むべき課題だと思います。挨拶ができて友だちを大切に、感謝の心、素直な心を持つ園児がたくさんいる園であってほしいです。</p> <p>・コロナ禍において感染対策で重要なのは情報把握とその実施が必要です。行政の指導に従うだけでなく、園独自の対策に加えて園児と保護者への説明も必要となります。コロナウイルスに限らず、今後は園としての根拠のある感染対策は素晴らしい幼稚園である上での優先事項の1つであると言えます。</p>
--